

## ○ガソリンスタンド洗車汚泥の測定結果

地 域	汚泥中の放射性物質(ベクレル/kg)			洗車場からの排水 (ベクレル/L)	排水が流入する河川水 (ベクレル/L)	汚泥保管量
	放射性ヨウ素	セシウム134	セシウム137			
柏崎刈羽地域	検出されず	41,000	49,000	検出されず	検出されず	～5月までの発生分 約15kg
柏崎刈羽地域	検出されず	1,900	2,300	検出されず		汚泥槽に保管中
柏崎刈羽地域	検出されず	20,000	25,000	検出されず		汚泥槽に保管中
柏崎刈羽地域	検出されず	1,300	1,600	検出されず		汚泥槽に保管中
新潟市	検出されず	250	270			約10kg
新潟市	検出されず	99	120			約60kg
新潟市	検出されず	75	93			約60kg

## ○車の表面汚染の測定結果

	表面汚染の状況	
3/12 浪江町派遣車両	車両前面、タイヤ ~43,000cpm 、 車両側面 ~5,700cpm	← 事故直後に福島県に派遣し、現在は警戒区域とされている地域で作業に従事した県公用車から、高い濃度の放射性物質が検出されている。
6/6~7/30 相馬市派遣車両	汚染無し(自然放射線レベル: B.G.70cpm) 60~80cpm ※ 福島県内で洗車後、新潟市到着時に測定	
7/17~7/30 相馬市派遣車両	汚染無し(自然放射線レベル: B.G.70cpm) 50~70cpm ※ 福島県内で洗車後、新潟市到着時に測定	
7/16~8/6 相馬市派遣車両	汚染無し(自然放射線レベル: B.G.100cpm) [洗車前]95~108cpm  [洗車後]94~105cpm (B.G.100cpm) ○ 新潟市到着時50~80cpm (B.G.70cpm)	← 最近、警戒区域外で災害復旧業務あつた県公用車からは、放射性物質はほとんど検出されていない。

※ 表面汚染検出値 1,000cpm ⇨ 表面に付着した放射性物質濃度 3.5ベクレル/cm<sup>2</sup>に相当